

台東新聞

発行責任者	委員	責任部長
編集責任者	委員	掃合部長
発行所	京東	清組支
発行所	労働東	掃合支

2009年11月16日 第7号

「22年度」作業計画特号その2

「22年度」作業計画交渉 機関として苦渋の判断

計画量の見直し3セット減 軽小ダンプ2台活用

「22年度」作業計画交渉について、当局はごみ量減による4セットから6セットの減車の考え方を示していました。この提案について、職場実態を無視した減車計画を跳ね返すために、幾度となく、事務折衝・三役専門部長会議・執行委員会を開催し、支部として3セット減・不燃の軽小ダンプ2台の活用まで押し返した。苦渋の判断をしてきました。

この提案を了承する上で、支部として6点について、解明要求をしています。人員ありきの作業計画にない。退職者不補充は認められない。欠員補充のこと。軽小ダンプの活用は、実施

検証を含めて詳細を明らかにすること。軽小ダンプの3台中継所の直接搬入できない場合の対応はどうか。

危険物（ガス缶・スプレー缶等）の別途回収について、具体的にはどの様に考えているのか。燃ごみ・不燃ごみに今だ多く混入され燃ごみに今だ多く回収されている資源ごみも回収をきちんと確認できるようにしたい。22年度の平常計画に上記のこと。6点について、当局から納得が出来るかという点に、最終的な合意と回答を受ける。

今後の検討課題

今後は、作業計画表・作業実施要綱・人員配置等、また不燃ごみの月2回収集のPTの中で、当局より具体的な提案がされ、全体集会を開催し、全員で色々な意見を聞き出し、内容を確認し、納得が来る内容を確認し、22年度「作業計画」について最終合意をしていきたいと思えます。

粗大・資源 民間委託反対

当局は「財政難」や他の状況等を理由に、粗大・資源の民間委託の姿勢を変えていません。現段階では当局との折衝・交渉を続けています。この民間委託の姿勢で、民間委託の反対の姿勢で取り組んでいく予定です。